

イタリア/ドイツ 歩行者優先中心市街地の〈訪問記録〉

レポート 1 (既公開)、レポート 2 (準備中) とは別にシリーズでお届けします。



訪問 20 都市と私のイタリアの拠点メルカテッロ スル メタウロの位置

イタリア/ドイツ 歩行者優先中心市街地 訪問記録 - 1

- イタリア、メルカテッロは人口たったの 1400 人。そんな町にこの夏、ミラノ張りの(?) 歩行者専用ゾーンがつけられました!
- 「歩行者優先のまち」がヨーロッパの常識になっている証拠です。



車が全く通らなくなった中心市街地。以前にもまして、長閑な町になりました。誰に聞いても「よくなった!」と大満足。ちょっと不満なのはここでもやっぱり、広場に面する商店主。



週末は車の「通行と駐車」を禁止。一本の標識を立てただけで町は天国になりました。貸自転車も用意されている。ミラノか?と思うほど歩行者優先のメニューに忠実。



ちょっと淋しかった通りにテーブルと椅子が出てきて、夜がとてものにぎやかになりました。

イタリア/ドイツ 歩行者優先中心市街地 訪問記録 - 2

●街中がカフェテラス。皆で、外で、食べたり飲んだり。それだけで人は楽しめる。そのために人は街に出てくる。



【ミラノ・ブレラ地区の歩行者専用ゾーン。路地は椅子とテーブルと人と自転車で混み合っている。】



【ポツダム・ブランデンブルグ通り。のんびりとくつろぐために人はここにやってくる。】

●道いっぱい広がった椅子とテーブル。道路は[通行のためだけ]にあるのではない！ 使い方次第で街はこんなに楽しくなる。

●救急車や消防車の活動に差し障り無いのか？ それはその時に何とかしよう、、、。そんな大人の常識があるんでしょね、きっと。

日本ではイオンモールが
立派に
その役を果たしている？

日本では道路は
通行のためだけにしか
使えない！